

## まちづくり委員長方針

菱田 高志

委員会日：毎月15日前後

＝委員会メンバー＝

副委員長：可児将太郎 西村 昭彦

運営幹事：太田ゆかり

会計幹事：小栗康太郎

委員：柴田 郷史 塚田 紳也 名城 仁志 村上 大知

### <委員長方針>

中津川市には、2027年リニア中央新幹線の開通に伴い、リニア岐阜県駅が設置されます。中津川市をはじめ隣接するまちでも、リニアの波及効果に期待を抱き、地域資源を活かした観光交流人口の拡大、定住人口の維持などの様々な取り組みが行われています。こうした期待や取り組みに対して、隣接するまちのことも考えて未来の中津川のために行動している市民は少ないのではないのでしょうか。市民が自身のまちのためだけでなく隣接するまちのことも考えて、未来の中津川を思い描いて行動することで新たな価値を創出することができ、次代へ魅力あるまちを繋げることができると考えます。

本年度、まちづくり委員会では、隣接するまちの人たちとの触れ合いの中で「歴史・文化・まちを想う心」を知っていただき、理解を深めていただけるよう広域的な交流の機会を創出して参ります。そのためには、我々が広域連携の必要性を理解し、市民の先導者となれるよう行動していく必要があると考えます。そうすることで、隣接するまちも含め、未来の中津川を思い描がいて行動する市民が増え、「岐阜県の東の玄関口として相応しいまち」に近づくと考えます。

卒業生を送る会の開催では、青年会議所の卒業という一つの節目を迎える卒業生にとって、自身の活動や仲間と過ごした時間を振り返る中で、この日がかけがえのない日としていただけるよう設営して参ります。そして、在籍メンバーには共に振り返る中で、卒業生のこれまでの青年会議所活動への想いを引き継いでいただき、改めて感謝と敬意の気持ちを持っていただけるような1日として参ります。

最後に委員会メンバーには思いやりと責任感を持ち共に活動する中で信頼関係を構築していただきたいと思います。そのために、私は委員長として、委員会の進むべき道を明確に定め、導いていけるよう率先して行動して参ります。

<事業計画>

- ・まちづくりの推進
- ・卒業生を送る会の開催

<事業予算>

- ・300,000円
- ・140,000円